

平成18年9月期 第3四半期財務・業績の概況（非連結）

平成18年7月28日

会社名 株式会社 ステップ

（コード番号：9795 JASDAQ）

（URL <http://www.stepv.co.jp/>）

問 合 せ 先 代表者役職 代表取締役社長
氏 名 龍 井 郷 二
責任者役職 取 締 役
氏 名 池 永 郁 夫

TEL：（0466）45－5500

1. 四半期財務情報の作成等に係る事項

- ① 会計処理の方法における簡便な方法の採用の有無 : 無
- ② 最近会計年度からの会計処理の方法の変更の有無 : 無
- ③ 以下に記載する第3四半期財務諸表等について、監査法人による監査は受けておりません。

2. 平成18年9月期第3四半期財務・業績の概況（平成17年10月1日 ～ 平成18年6月30日）

(1) 経営成績の進捗状況

（百万円未満切捨）

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	四半期（当期） 純 利 益
	百万円 %	百万円 %	百万円 %	百万円 %
18年9月期第3四半期	4,262 (6.7)	728 (19.4)	720 (22.7)	381 (15.5)
17年9月期第3四半期	3,994 (2.6)	609 (△4.6)	586 (△7.2)	330 (△0.7)
（参考）17年9月期	5,635 (4.1)	1,114 (0.6)	1,085 (△2.0)	618 (2.0)

	1株当たり四半期 （当期）純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期 （当期）純利益
	円 銭	円 銭
18年9月期第3四半期	25 57	— —
17年9月期第3四半期	22 13	— —
（参考）17年9月期	41 47	— —

（注）売上高、営業利益等におけるパーセント表示は、前年同四半期に対する増減率であります。

〔経営成績の進捗状況に関する定性的情報等〕

今春も進学実績は好調でした。県立トップ高校への合格者数をさらに伸ばしてこれまで最高の1,220名とし、塾別合格者数におきまして引き続き県内他塾を圧倒する結果を残すことができました。特に、当社にとりまして巨大な潜在的マーケットと考えております横浜地区におきまして、伝統有名校や人気実力校、とりわけ神奈川県で昨春より開始された自校作成学力検査問題をいち早く導入し、現在進行中の県内高校入試改革の象徴的存在となっている有力進学校への入試結果をさらに大きく伸ばし得たことは、当社の「合格力」を測る上でも、ブランド戦略を押し進める上でも、将来につながる大きな成果であったと自負いたしております。

昨春より県立高校の学区が撤廃され、全県一学区での入試となりました。また、上位校を中心に、実力勝負である学力検査の選抜資料に占める比重を高める高校が増えました。これらの影響により、従来ひと口に「県立トップ高校」と称されていた一群の約20校の中にも、競争率、人気、さらに自校作成学力検査問題導入校におきましては入試難度に関しましても、少なからぬ格差が生じてまいりました。当社といたしましては、その中でも合格難度を上げている高校を中心に合格実績を伸ばすことにより、進学実績に裏打ちされたさらなる浸透、基盤の強化を県内広く図ってまいりたいと考えております。

さて、当第3四半期は新学年度のスタート時期に相当いたします。当期における生徒募集状況につきましては、学年ごとに多少異なる様相が見られますが、全体といたしましては当初予想よりもプラスの順調な推移を見せており、結果、売上もそれを反映した数値となっております。

一方、費用関係につきましては、当初予想した人件費を中心とする負担増は想定範囲内に収まっております。

以上の結果、当第3四半期の売上高は4,262百万円（前年同期比6.7%増）、経常利益は720百万円（同22.7%増）、四半期純利益は381百万円（同15.5%増）となりました。

(2) 財政状態の変動状況

(百万円未満切捨)

	総 資 産	純 資 産	自己資本比率	1株当たり 純 資 産
	百万円	百万円	%	円 銭
18年9月期第3四半期	9,065	7,217	79.6	483 72
17年9月期第3四半期	8,671	6,736	77.7	451 51
(参考) 17年9月期	9,261	7,029	75.9	471 16

[財政状態の変動状況に関する定性的情報等]

① 資産

当第3四半期末における総資産は、前期末比195百万円減の9,065百万円となりました。主な要因は流動資産の減少によるものです。

流動資産は、借入金の返済、配当金の支払及び新校舎の設備投資等による現金及び預金等の減少により前期末比466百万円減の842百万円となりました。

固定資産は、減価償却実施による減少はありましたが、新規開校、移設及び新校舎建設による設備投資により前期末比271百万円増の8,223百万円となりました。

② 負債

当第3四半期末における負債は、前期末比382百万円減の1,848百万円となりました。

流動負債は、9月支給による賞与引当金が96百万円増加したものの、短期借入金及び未払法人税等がそれぞれ127百万円減少したこと等により前期末比253百万円減の868百万円となりました。

固定負債は、借入金の返済及び短期借入金への振替により長期借入金が132百万円減少し前期末比129百万円減の980百万円となりました。

③ 純資産

当第3四半期末における自己資本は、当四半期純利益を381百万円計上する一方、配当金193百万円の実施等により、前期末比187百万円増の7,217百万円となりました。

また総資産が前期末比195百万円減少したことにより、自己資本比率は前期末に比べ、3.7ポイントアップの79.6%となりました。

○添付資料

(要約) 四半期貸借対照表、(要約) 四半期損益計算書

以 上

[参考]

平成18年9月期の業績予想(平成17年10月1日～平成18年9月30日)

	売 上 高	経 常 利 益	当 期 純 利 益
	百万円	百万円	百万円
通 期	5,905	1,129	644

(参考) 1株当たり予想当期純利益(通期) 43円16銭

※ 上記に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績等は、業況の変化等により、上記予想数値と異なる場合があります。

[業績予想に関する定性的情報等]

業績予想は、平成18年5月10日付「平成18年9月期 中間決算短信(非連結)」に記載の予想と変更はありません。

〔添付資料〕

1. (要約) 四半期貸借対照表

(単位：千円未満切捨)

科 目	前年四半期 (平成17年9月期 第3四半期末)	当四半期 (平成18年9月期 第3四半期末)	増 減		(参考) 平成17年9月期
	金 額 (千円)	金 額 (千円)	金 額 (千円)	増減率 (%)	金 額 (千円)
(資産の部)					
I 流動資産					
1. 現金及び預金	382,023	483,230	101,207	26.5	763,663
2. 未収授業料等	62,957	49,765	△13,191	△21.0	51,772
3. 有価証券	223,007	125,534	△97,472	△43.7	324,087
4. 教材等	39,217	39,405	188	0.5	30,308
5. その他	151,211	144,851	△6,359	△4.2	139,194
6. 貸倒引当金	△412	△535	△122	29.6	△245
流動資産合計	858,003	842,252	△15,750	△1.8	1,308,781
II 固定資産					
(1) 有形固定資産					
1. 建物	2,537,809	2,963,211	425,401	16.8	2,619,152
2. 土地	4,320,095	4,384,938	64,842	1.5	4,320,095
3. その他	243,800	141,407	△102,392	△42.0	303,079
有形固定資産計	7,101,705	7,489,556	387,851	5.5	7,242,327
(2) 無形固定資産	38,485	50,629	12,143	31.6	37,560
(3) 投資その他の資産					
1. 差入保証金	451,380	429,697	△21,683	△4.8	445,208
2. その他	222,321	253,458	31,137	14.0	227,178
投資その他の資産計	673,701	683,155	9,453	1.4	672,387
固定資産合計	7,813,893	8,223,341	409,448	5.2	7,952,275
資産合計	8,671,896	9,065,594	393,697	4.5	9,261,056

科 目	前年四半期 (平成17年9月期 第3四半期末)	当四半期 (平成18年9月期 第3四半期末)	増 減		(参考) 平成17年9月期
	金 額 (千円)	金 額 (千円)	金 額 (千円)	増減率 (%)	金 額 (千円)
(負債の部)					
I 流動負債					
1. 短期借入金	678,108	420,238	△257,870	△38.0	548,048
2. 未払金	55,361	65,143	9,781	17.7	75,495
3. 未払法人税等	51,353	112,445	61,092	119.0	239,696
4. 賞与引当金	130,361	138,206	7,845	6.0	42,021
5. その他	143,589	132,470	△11,118	△7.7	216,814
流動負債合計	1,058,772	868,503	△190,268	△18.0	1,122,076
II 固定負債					
1. 長期借入金	638,622	734,974	96,352	15.1	867,765
2. 役員退職慰労引当金	228,440	234,990	6,550	2.9	232,080
3. その他	9,522	10,040	518	5.4	9,428
固定負債合計	876,584	980,004	103,420	11.8	1,109,273
負債合計	1,935,357	1,848,508	△86,848	△4.5	2,231,350
(資本の部)					
I 資本金	1,329,050	—			1,329,050
II 資本剰余金	1,402,050	—			1,402,050
III 利益剰余金	4,094,700	—			4,383,337
IV その他有価証券評価差額金	△1,461	—			3,068
V 自己株式	△87,800	—			△87,800
資本合計	6,736,539	—			7,029,706
負債及び資本合計	8,671,896	—			9,261,056
(純資産の部)					
I 株主資本					
1. 資本金	—	1,329,050			—
2. 資本剰余金	—	1,402,050			—
3. 利益剰余金	—	4,570,864			—
4. 自己株式	—	△87,800			—
株主資本合計	—	7,214,164			—
II 評価・換算差額等					
1. その他有価証券評価差額金	—	2,921			—
評価・換算差額等合計	—	2,921			—
純資産合計	—	7,217,085			—
負債純資産合計	—	9,065,594			—

2. (要約) 四半期損益計算書

(単位：千円未満切捨)

科 目	前年四半期 (平成17年 9 月期 第 3 四半期末)	当四半期 (平成18年 9 月期 第 3 四半期末)	増 減		(参考) 平成17年 9 月期
	金 額 (千円)	金 額 (千円)	金 額 (千円)	増減率 (%)	金 額 (千円)
I 売上高	3,994,657	4,262,992	268,334	6.7	5,635,270
II 売上原価	2,930,802	3,100,411	169,608	5.8	3,959,290
売上総利益	1,063,855	1,162,581	98,725	9.3	1,675,979
III 販売費及び一般管理費	454,110	434,263	△19,847	△4.4	561,572
営業利益	609,744	728,318	118,573	19.4	1,114,407
IV 営業外収益	49,035	52,452	3,417	7.0	66,381
V 営業外費用	72,169	60,733	△11,436	△15.8	95,194
経常利益	586,610	720,037	133,427	22.7	1,085,594
VI 特別損失	12,489	36,804	24,315	194.7	19,667
税引前四半期（当期）純利益	574,121	683,233	109,112	19.0	1,065,927
法人税、住民税及び事業税	270,200	335,399	65,198	24.1	451,377
法人税等調整額	△26,235	△33,653	△7,417	28.3	△4,243
四半期（当期）純利益	330,156	381,487	51,331	15.5	618,792